

目次

● 序章 プロビジョナルレストレーションの起源	
プロビジョナルレストレーションの起源 (伊藤/高井)	10
Dr. Raymond Kimの臨床の足跡	13
● 第1章 プロビジョナルレストレーションの概念	
プロビジョナルレストレーションの概念 (伊藤)	16
TemporaryとProvisional	16
プロビジョナルレストレーション	16
包括的歯科治療における治療の流れとプロビジョナルレストレーション	17
治療の流れとプロビジョナルレストレーション	18
● 第2章 プロビジョナルレストレーションの役割と臨床応用	
プロビジョナルレストレーションの役割 (伊藤)	28
修復治療の分類	28
テンポラリーレストレーションとしての役割	29
プロビジョナルレストレーションのコンセプトとその役割	29
治療のステージにより異なるプロビジョナルレストレーション	31
歯周外科時のアクセスコントロール	32
フィニッシュラインのプレパレーション	33
歯周外科時のサージカルガイドとして	34
Biologic Widthのコントロール	34
サブジンジバルカントゥアのマネージメント	38
サブジンジバルカントゥアのマネージメント	39
補綴装置のマージンの設定位置	41
コンベンショナルレストレーションにおけるフィニッシュラインと骨頂との距離	41
プロビジョナルレストレーションに求められる形態	43
フィニッシュラインとマージンの適合	43
補綴装置の強度とポーセレンの審美性を図る	44
ブラケットライアングルのコントロール	45
プロビジョナルレストレーションにおける生物学的形態	46
レストレーションとは	46
レストレーション(補綴装置形態)における“保護と刺激”の概念	46
軸面形態	46
Physiological Tooth Contouring	47
臼歯における食物の流れ	47
プラークの形成	48
Physiological Counter Therapy	48
Food Deflection Theory	49
保護的湾曲	49
刺激的湾曲	49
歯冠隣接面接触点	50
隣接接触点の機能	50
ポンティックにおける生物学的形態	51
ブリッジ・ポンティックの要件	51
生理的ポンティック外形	52
ポンティック基底面形態と接触する歯肉形態	53
オパイトポンティック基底面のメンテナンス	53
ポンティック基底面のティッシュマネージメント	54
オパイトポンティックのティッシュマネージメント	55
オパイトポンティック結合繊維移植術(Ridge Augmentation) 症例	56
文献供覧	58
サブジンジバルカントゥアの臨床	60
歯周組織の健康維持と評価	61
清掃性の環境改善と評価	61

目次

咬合治療・補綴治療の側面における役割 (伊藤)

求められる咬合とは	62
咬合の安定と改善（静的咬合・動的咬合）	62
臼歯部における咬頭対窩の関係	62
咬頭の割り振り，隆線の走行方向と形態	62
アンテリアガイドランスの確立	62
犬歯誘導を主体としたアンテリアガイドランスと臼歯離開咬合の考え方	64
プロビジョナルレストレーションの咬合調整	65
咬頭干渉の調整部位と干渉を起こしにくい咬合面形態	67
咬合調整の原則	67
プロビジョナルレストレーションの評価	69
支台歯としての予後の判定	70
支台歯の予後判定のクライテリア	70
スプリンティングの範囲とデザインの決定	70
スプリンティングの適応症	71
考慮すべき動揺歯の環境と連続型スプリンティングの利点・欠点	71
スプリンティングの指標	72
セメントのウォッシュアウト	72
セメントのウォッシュアウトの原因と対応	72
参考症例：約40年前のわれわれのメンターであるDr. R Kimの臨床	73
今日におけるインプラントでの対応	74
連結の種類	74
クロスアークスプリンティングが必要となる症例	77
キーアンドキーウェイの利点・欠点	77
クロスアークスプリンティングにおけるキーアンドキーウェイの使用目的	78
クロスアークスプリンティングを行った歯周補綴	78
プロビジョナルレストレーションと咬合力	84
パラファンクションとオルソファンクション	84
パラファンクションとプロビジョナルレストレーション	85
咬合採得の指標	85
咬合採得（Bite Registration）とは	85
現在の咬頭嵌合位で咬合採得する方法	86
顎頭位を基準とする方法	86
CRの定義の変遷	86
クローズドバイトテクニック（マッシュバイト）	87
オープンバイトテクニック	88
咬合再構成におけるプロビジョナルレストレーションを使った咬合採得法	89
クロスマウントテクニック	89
クロスマウントの術式	89
補綴治療にともなう下顎位の変化と咬合採得	92
クロスマウントの臨床術式①	92
クロスマウントの臨床術式②	97
支台歯形成デザインの変遷（上顎中切歯） (高井)	104
一般的に求められる支台歯形成デザイン	105
ボンディングレストレーション（Bonding Restoration）における支台歯形成	106
モノリシックにおけるマテリアルスペース	106
前突傾向と支台歯形成	107
Ⅰ級の支台歯形成	108
Ⅲ級の支台歯形成	108
上顎前突傾向の患者に対する支台歯形成	108
コンベンショナルなラミネートベニア	110
デジタルを活用したラミネートベニア	112
アライナー矯正を併用したラミネートベニア	114

目次

● 第3章 オーバーレイプロビジョナルレストレーション	
オーバーレイプロビジョナルレストレーション	116
(伊藤)	咬合高径の近年の考え方 (Rivera-Morales, 1991) 119
オーバーレイプロビジョナルレストレーションの目的	オーバーレイプロビジョナルレストレーションの原理 120
(伊藤)	オーバーレイプロビジョナルレストレーションの目的 120
垂直的下顎位 (咬合高径) の変更を検討するケース	121
咬合高径を挙上して補綴するための診断・条件	121
咬合高径挙上の注意点	122
初診時資料	123
緊急処置	124
診断用ワックスアップ	125
前歯のカッピング診断	125
臼歯のワックスアップ	125
プロビジョナルレストレーション用レジンへの置換	126
オーバーレイプロビジョナルレストレーションの装着	126
2ndプロビジョナルレストレーションの製作	127
最終補綴装置	127
術後27年	128
治療再介入のための診断用ワックスアップ	129
治療の再介入	130
セラミックマテリアルによる咬合挙上	132
(伊藤)	参考症例 134
● 第4章 プロビジョナルレストレーションの製作	
チェアサイドにおける製作	臼歯部単冠の製作 138
(高井)	使用材料①：即時重合レジン 138
使用材料②：筆 138	即時重合レジンの基本操作 139
プレキャップ法とその事前準備 140	臼歯部単冠プロビジョナルレストレーション製作 140
上顎前歯部の製作 144	上顎前歯部の製作 144
鼓形空隙 (エンプレジャー) とは 144	鼓形空隙付与に使用するパー 145
鼓形空隙付与のハンドリング 146	鼓形空隙付与のハンドリング 146
上顎前歯群の形態決定の実際 148	上顎前歯群の形態決定の実際 148
技工サイドにおける製作	プロビジョナルレストレーションを長期に使用する場合の材料の一考 149
(伊藤)	
● 第5章 デジタルデンティストリーにおけるプロビジョナルレストレーションの役割	
デジタルデンティストリーにおけるプロビジョナルレストレーションの革新	デジタル・デンタル・デザインとは 152
(高井)	CADデザインにおけるミラーリングとモーフィング 154
参考症例① 156	参考症例② 157
デジタル・デザインに必要な前歯部審美的基礎知識	検証ステップ1：どのような天然歯・天然歯列に美しさを覚えるのか 160
(高井)	分析方法 160
「歯の位置と形態」における基礎知識	分析結果総括 162
(高井)	「評価基準 (Reference) 」と「判断基準 (Criteria) 」, そして「位置」と「傾き」 164
評価基準 (Reference: デカルト座標) の設定 165	評価基準 (Reference: デカルト座標) の設定 165
正中線・正中矢状面 165	正中線・正中矢状面 165
水平基準面 166	水平基準面 166
口唇の動的評価 166	口唇の動的評価 166
判断基準 (Criteria): 上下顎6前歯 167	判断基準 (Criteria): 上下顎6前歯 167
①上顎中切歯・切縁の位置 (PICコンセプト) 167	①上顎中切歯・切縁の位置 (PICコンセプト) 167
②歯の形態と見え方: アクチュアル・フォームとビジュアル・フォーム 169	②歯の形態と見え方: アクチュアル・フォームとビジュアル・フォーム 169

目次

● 第6章 インプラントにおけるプロビジョナルレストレーション インプラントにおけるプロビジョナルレストレーション (伊藤)

③トウス・レシオ オン ビジュアル・フォーム	170
④レッド・プロポーション オン ビジュアル・フォーム	170
⑤上顎犬歯の位置	171
⑥上顎6前歯：排列の基本	172
⑦Kokichの審美観に対する検証	173
⑧歯冠軸と唇側面歯軸（前頭面）	174
⑨固有唇面の前後的角度（矢状面）	175
⑩上下顎6前歯：幅径の決定 Chuの分析	176
⑪これまでの総括	177
上下顎前歯群：アンテリアカップリング	178
①BOLTON-Index	178
②オーバージェット・オーバーバイト（上下顎犬歯の対向関係）	179
③Visagism：Active Transformation for Aesthetic Dentition	179
検証ステップ2：美しい歯・歯列の正常像，ゴールデン・ルールとは	180
分析方法・結果	180
結論	180
最終考察	182
エステティックトランスフォーメーション	182
6前歯に対するエステティックトランスフォーメーション（アナログ編）	183
6前歯に対するエステティックトランスフォーメーション（デジタル編）	186
参考症例①	189
参考症例②	193
インプラント周囲環境（Biologic Width）	196
天然歯がもっている解剖学的歯頸部口径の再現	198
抜歯即時埋入の考え方	198
抜歯窩骨壁とインプラント間の死腔が骨化される条件を有すること	199
抜歯即時埋入の外科術式の要点	200
インプラント周囲軟組織において	201
抜歯即時埋入の臨床（トラブル&リカバリー症例）	202
抜歯即時埋入におけるティッシュマネージメント	207
多数歯インプラント（抜歯即時）埋入におけるティッシュマネージメント	209
カスタムインプレッションコーピング	211
前歯部におけるアパットメント立ち上がり形態	214
ランニングルーム	216
天然歯におけるクリティカルカントウア	217
インプラントにおけるクリティカルカントウア	217
参考症例	220
アパットメントの形態に影響する要素	221
埋入深度とアパットメントカントウアの関係	221
参考症例	223
臼歯部におけるアパットメントの立ち上がり形態	227
参考症例	230
理想的なアパットメントカントウア	230
参考症例	233
陳旧顎堤におけるインプラント埋入の考え方	235
抜歯創とインプラント埋入の傷の治癒機転の違い	235
陳旧顎堤におけるインプラント埋入	238
骨損傷後の荷重時期と荷重量のタイムラグ	239
Computer Guided Immediate Smile Provisional Restoration	240
単歯欠損におけるイミディエイトスマイルプロビジョナルレストレーションの実際	240
多数歯欠損におけるイミディエイトスマイルプロビジョナルレストレーションの実際	244
全顎的抜歯即時埋入におけるイミディエイトプロビジョナライゼーション	251